

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込							参 考						
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	評価結果					
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員			第2期	H30	R1	R2	R3	
第1 市民 に対して 提供する サービス その他の 業務の 質の向上 に関する 目標	1 市民病院としての役割の 明確化	—	—	—	—	—	—		A		B	B	A	A	A
	(1) 医療機能の明確化	4	4	4	4	4	4	4	4		4	4	4	4	5
	(2) 地域包括ケアシステム における機能の強化	4	4	4	4	4	4	4	4		3	3	4	4	4

第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント
(判断理由、評価の意見等)

(A委員) 急性期、回復期、在宅支援など医療機能の明確性は一貫している。
(B委員) 診療体制の充実が図られ、医師数も目標に届いた。全24診療科が特色ある診療を実施、急性期医療を中心に在宅から入院、そして在宅へと回復期機能にも一定の軸足を置いて計画的に整備を進めている。COVID-19重点医療機関としての機能を十分に発揮している。今後の病床運用について患者の動向を見ながら検討が必要である。
(C委員) 入院から在宅まで切れ目のない医療体制の整備を行っており評価出来る。
(D委員) 医師を確保し、診療体制を強化したこと、回復期機能にも一定も軸足置いて医療機能を整備した点を評価。
(E委員) 市民に対する一般的な医療の提供を行いつつ、COVID-19に対しても適切に対応できており、地域の中核病院としての責任を果たしている。

(A委員) 急性期医療を担うだけでなく地域医療・介護支援を一貫して推進している。
(B委員) 急性期医療を脱した患者の在宅への移行を地域包括ケア病棟や訪問看護ステーションが担い成果を上げている。明石在宅医療連携システムへの登録医療機関が、12医療機関から72医療機関に増え、レスパイト入院にも対応している。
(C委員) 地域の医療関連事業者との連携を深化させており評価出来る。
(D委員) 地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、訪問看護ステーションの運用の実績を評価。
(E委員) 訪問看護ステーションを活用し、地域密着型の切れ目のない診療を行い、地域包括ケアシステムの機能強化を図っている。

第2期:地域包括ケアシステムのなかでの役割の明確化

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込							参 考					
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	評価結果				
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員			第2期	H30	R1	R2	R3
目標を達成するためとるべき措置	(3) 災害及び重大な感染症発生時への対応	5	5	5	5	5	5	5	(A委員) 2020年以降のコロナ対応はじめ、その他の政策医療含めて積極対応を行ったことは評価できる。 (B委員) 災害対応病院としてアクションプランや対応マニュアル、BCPの策定、訓練実施。COVID-19重点医療機関としての役割を果たしている。 (C委員) 昨年度から続きCOVID-19への対応は多大な成果を上げているが、救急医療との両立する医療体制が今後求められるのではないか。 (D委員) COVID-19対応だけでなく、大規模災害発生時の対応も検討している点を評価。 (E委員) COVID-19の重点医療機関として運用し、多くの患者を入院させ、地域での必要性から重症患者専用病床も引き受けている。	3	3	4	5	5
		第2期:災害緊急時への対応												

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込							参 考							
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	評価結果					
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員				第2期	H30	R1	R2	R3	
第1 市民 対し て 提 供 す る サ ー ビ ス そ の 他 の 業 務 の 質 の 向 上 に 関 す る 目 標 を	2 高度な総合的医療の推進	—	—	—	—	—	—		A		A	A	A	A	A	
	(1) 急性期医療を中心とした総合的な医療の提供	4	4	4	4	4	4	4	4	(A委員)急性期を中心としながらも回復期や在宅支援も加えて総合的な医療が提供できている。 (B委員)診療体制が充実してきたことに加えて、総合内科を中心とした内科系救急体制、COVID-19患者対応、内視鏡センターの立ち上げと肝臓分野、消化管分野の診療、外科系では胸腔鏡、腹腔鏡下手術の増加、全身麻酔の増加、整形外科や耳鼻科による内視鏡的手術などが実施されている。 (C委員)各診療科の体制充実が図られており、公立病院としての機能がより明確になっている。 (D委員)診療科の充実を評価。 (E委員)医師の増加は継続して行われており、2021年には64名になっている。特に、消化器系内科での常勤医が10名となっている。また、総合内科医師を受け入れ、高度な総合的医療の推進も適切に行われている。	4	4	4	4	4	第2期:急性期医療の総合的
	(2) 救急医療の推進	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員)COVID-19感染症の影響を受けた側面を除いて、常に件数増及びお断り減の努力を続けてきた。 (B委員)内科系、外科系の24時間救急診療体制を継続しているが、COVID-19患者の受け入れに対応するために一般病床の減少やICUの使用制限などの事態により、目標達成が危ぶまれる。今後のCOVID-19患者の動向により診療体制の再構築が必要と考える。 (C委員)感染症の流行は今後も予想されるものであり、救急医療との可能な限りの両立が求められる。 (D委員)搬入患者数、断り率の実態から評価。 (E委員)COVID-19対応にて救急医療は制限されているが、少ない病床を十分に利用しながら適正な努力をしている。	4	4	3	3	3	
	(3) 市と連携した政策医療の充実	4	4	4	4	4	4	4	4	(A委員)救急医療、小児医療、リハビリテーション、新型コロナワクチン接種など幅広い政策医療を推進して来た。 (B委員)予防検診や認知症検診を継続し、ユニバーサル歯科診療所を軸にして歯科医療機関と連携を強化し、通常の接種会場では対応できない障がい者と付き添い者のCOVID-19ワクチン接種を、市民病院において実施した。 (C委員)COVID-19ワクチンの集団接種など、市と連携した政策医療に積極的に取り組んでいる。 (D委員)歯科診療、COVID-19診療など、新たな取り組みを評価。 (E委員)行政と共にCOVID-19に対するワクチン注射を行っており、地域包括支援センターへの継続した看護師の派遣や、子育て支援のために病院職員を地域に出している。	3	4	4	4	4	第2期:予防医療及び市と連携した政策医療

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込								参 考					
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	評価結果				
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員				第2期	H30	R1	R2	R3
達成 する ため とる べき 措置	3 利用者本位の医療サービスの提供	—	—	—	—	—	—	—	B		B	B	B	B	B
	(1) 医療における信頼と納得の実現	3	3	3	3	3	3	3	3	(B委員) 中期計画通りとする。 (C委員) 外来、入院とも患者の満足度は高く、利用者のニーズに合うサービスが提供されている。 (D委員) ICの充実にに向けた取り組みを評価するが、実績不明。 (E委員) 電子カルテの更新にて機能を充実した患者対応ができています。	3	3	3	3	3
	(2) 利用者本位のサービスの向上	4	4	4	4	3	4	3.8	4	(A委員) 満足度向上に向けて種々の取り組みを行っており、患者満足度が向上してきている。 (B委員) 外来診療スペースを現状のCOVID-19患者対応に変換したほか、ご意見箱などの要望に応えたるなどの整備、改革を行った。 (C委員) 外来、入院とも患者の満足度は高く、利用者のニーズに合うサービスが提供されている。 (D委員) 外来スペース再整備計画が中断している一方で、サービス向上の取り組みにより患者満足度が高くなっているが、経年評価による。 (E委員) 患者満足度調査やご意見箱を基にフリーWi-Fiや番号案内表示板を設置して対応している。	3	3	3	4	4
第1 市民 対し て提 供	4 地域とともに推進する医療の提供	—	—	—	—	—	—	—	A		A	A	A	A	A
	(1) 地域医療支援病院としての役割の強化	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員) 20~21年度はCOVID-19の影響により一部活動が停滞したものの、一定の役割は果たしている。 (B委員) COVID-19患者蔓延での病床ひっ迫に対応して市内13病院と連携開始、重症専用病室を設置、民間病院受け入れ困難患者を積極的に受け入れ運用した。 (C委員) 地域医療の中心的役割を担っており紹介率、逆紹介率とも改善が進んでいる。 (D委員) COVID-19の影響により地域医療機関との連携強化が図れていない。 (E委員) 紹介率や逆紹介率は、目標に向かっての改善が見られ、感染対策を講じたオープンカンファレンスやオンラインでの開催にて適切な役割を果たしている。	4	4	3	3	3

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込								参 考					
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	評価結果					
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員			第2期	H30	R1	R2	R3	
提供するサービスその他の業務の質	(2) 地域社会や地域の諸 団体との交流	4	4	4	4	4	4	4	4	(A委員) 地域社会や諸団体と積極的な交流を続けてきた。 (B委員) 対面が困難な中、ステークホルダーに対して多様なアプローチを展開し、市民病院の存在意義を示した。 (C委員) 地域医療の中心的役割を担っており紹介率、逆紹介率とも改善が進んでいる。 (D委員) 広報誌のリニューアルなど地域社会との交流促進を図っている。 (E委員) 地域社会に対して、COVID-19の治療やワクチン投与、感染予防対策について適切に対応している。	3	4	4	4	4

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込							参 考										
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見 等)					評価結果				
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員			第2期	H30	R1	R2	R3					
の 向 上 に 関 す る 目 標 を 達 成 す る た め と る べ き 措 置	5 総合力による医療の提供	—	—	—	—	—	—		B		B	B	B	B	B	B	B		
	(1) チーム医療と院内連携の推進	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員)一定の取り組みと努力は続けられている。 (B委員)多職種が専門性を発揮してチーム医療、院内連携が図られている。 (C委員)安全、効果的医療推進のため、管理部門とも連携が行われていることから一定の成果がある。 (D委員)チーム医療は推進できている。 (E委員)臨床では多職種連携によるチーム医療を行い、質の高い治療を推し進めている。また、委員会や合同カンファレンス、NSTやICTでもチーム連携を行い、病棟には管理栄養士や薬剤師の配置を行っている。	4	3	3	3	3	3			
	(2) 情報の一元化と共有	4	3	4	4	3	4	3.6	3	(A委員)管理的側面の情報の一元化は進んできているが、チーム医療に必要な医療提供場面での一元化も重要と思われる。 (B委員)院内外の有識者による今後の病院の方向性を検討し情報を共有できたことは大きい。 (C委員)安全、効果的医療推進のため、管理部門とも連携が行われていることから一定の成果がある。 (D委員)経年評価による。 (E委員)診療情報を一元化して、DPCデータの分析やベンチマークによる他院との分析を行い、診療単価の増加が得られている。	3	3	3	3	3	4			

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込								参 考					
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	評価結果				
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員				第2期	H30	R1	R2	R3
第1 市民 対して 提供 する サー ビス その 他の 業務 の質 の向 上 に 関 する 目 標 を 達 成 す る た め と る べき 措 置	6 医療の質の向上	—	—	—	—	—	—		B		B	B	A	B	
	(1) 医療安全や感染防止 対策の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	(B委員) 多職種の構成員による医療安全管理室によるインシデントカンファレンス実施を実施し、職員の危機管理意識が向上した。COVID-19重点医療機関として地域医療に貢献した。 (C委員) COVID-19への対応は患者だけでなく、医療従事者をいかに守るかにに関して知見を得たものとする。 (D委員) 医療安全管理室の体制見直し、COVID-19重点医療機関としての役割を担っている。経年的評価による。 (E委員) インシデントを収集し、多職種間でのデータの共有と再発防止のための分析を行い、医療安全を推し進めている。電子カルテ導入時には新しいシステムを導入して活用し、院外に対してもあかし医療安全ネットワークと継続して活動を行っている。COVID-19では適正な予防対策を行って院内感染を押しさえながら、地域のCOVID-19患者の対応ができています。	4	4	4	4	4
	(2) 質の向上のための取 組の強化	3	3	3	3	3	3	3	3	(B委員) 多職種で構成される品質管理室を設置し、俯瞰的な視点から評価、職員の改善意識を醸成した。 (C委員) ISO9001の認証継続を行っており、質の向上に寄与している。 (D委員) ISO9001認証継続の取り組み評価するが、経年的評価による。 (E委員) ISO9001の認証継続を行い、文書管理や内部監査における品質管理に努めている。	3	4	3	4	3
	(3) コンプライアンス（法 令・行動規範の遵守）の強化	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員) 内部統制など体制は整えられつつあるが、それらを機能させることが重要となる。 (B委員) 内部統制システムの導入後理解のための取り組みがCOVID-19のため進まず、2022年度以降取り組みへの着手を予定。 (C委員) 外部理事の選任を進めるなど改革の体制は整えつつある。 内部統制は委員会組織ではなく常設の組織とすることが望ましい。 労働生産性の向上により人材に余裕が出来ることを期待する。 内部通報が0件というのは窓口が機能しているのか気がかり。 (D委員) 経年的評価による。 (E委員) 法令関係や内部規定の遵守では、積極的な活動はできていないが、改善に対する意欲は感じられる。	2	2	3	3	3

第2期:継続的な取り組みによる質の向上

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込							参 考										
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見 等)					評価結果				
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員			第2期	H30	R1	R2	R3					
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	1 医療職が集まり成長する人材マネジメント	—	—	—	—	—	—		B		B	B	B	B	B	B			
	(1) 必要な医療職の確保	3	3	3	3	3	3	3	3	(B委員)院長を中心とした医師確保が中期計画通り進んでおり、他の医療職の確保も計画通りと評価する。 (C委員)公立病院出身の医療職は民間でのニーズが高いと聞く。 魅力有る人材育成システムを通じてこそ医療職を必要十分に確保出来ることから教育・研修・正当な処遇が今後ますます求められる。 (D委員)経年的評価による。 (E委員)医師事務作業補助者や看護補助者を配置し、医療従事者の業務負担軽減に努めている。	3	3	3	3	3				
	(2) 魅力ある人材育成システム	3	3	3	3	3	3	3	3	(B委員)院内教育システムや支援制度を見直し、人材育成を継続して実施している。 (C委員)公立病院出身の医療職は民間でのニーズが高いと聞く。 魅力有る人材育成システムを通じてこそ医療職を必要十分に確保出来ることから教育・研修・正当な処遇が今後ますます求められる。 (D委員)経年的評価による。 (E委員)院外の人材養成講座や特定行為看護師が各1名得られている。認定看護師の資格取得支援を行っている。	3	3	3	3	3				
	2 経営管理機能の充実	—	—	—	—	—	—		B		B	B	B	B	A				
	(1) 役員の責務	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員)理事長はじめ各役は十分な責務を果たしている。今後は外部理事を含めた全理事の更なる役割発揮が鍵になると思われる。 (C委員)外部理事を追加するなど一定の改善は見られたものの第3期間通じて特筆すべき成果を上げられなかった。 (D委員)経年的評価による。	3	3	3	3	3				
	(2) 管理運営体制の充実	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員)全般的な管理能力や体制、マネジメント諸活動、管理データなど公立病院としてレベルが高くなってきたように見受けられる。 (C委員)外部理事を追加するなど一定の改善は見られたものの第3期間通じて特筆すべき成果を上げられなかった。 (D委員)経年的評価による。	3	3	3	3	4				

第2期:管理運営体制の強化

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目	第3期中期目標期間見込								参 考					
	法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見 等)	評価結果				
		A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員				第2期	H30	R1	R2	R3
(3) 事務職の育成の推進	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員) プロパー中心の体制が軌道に乗り、医療事務など現場部門および管理部門ともに段階的に能力が向上してきた。 (C委員) 外部理事を追加するなど一定の改善は見られたものの第3期間通じて特筆すべき成果を上げられなかった。 (D委員) 経年的評価による。	3	3	3	3	4
										第2期:事務職の役割の明確化と専門性の向上				

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込								参 考						
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	評価結果					
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員				第2期	H30	R1	R2	R3	
第2 業務 運営 の改 善及 び効 率化 に関 する 目標 を達 成す るた めと るべ き措 置	3 構造改革の推進	—	—	—	—	—	—		B		B	B	B	B	B	
	(1) 組織風土の改革	3	3	3	3	3	3	3	3	(C委員)一定の改革の成果は出ていると考えられる。 (D委員)経年的評価による。	3	3	3	3	3	
	(2) 人事評価制度の運用	3	3	3	3	3	3	3	3	(C委員)人事評価制度については道半ばと捉えている。引き続き公正な評価を通じた組織の活性化を期待する。 (D委員)経年的評価による。	3	3	3	3	3	第2期:人事給与制度の整備
	(3) 労働生産性の向上	3	3	3	3	3	3	3	3	(C委員)労務の効率化を通じた残業時間の削減が行われている。 RPAのさらなる推進と人材の適正配置が求められる。 (D委員)電子カルテの活用、医療機器導入や業務委託による医療職の負担軽減、超過勤務時間の抑制など対応しているが、経年的評価による。	4	3	3	3	3	第2期:購買・契約制度の改

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込							参 考						
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	評価結果				
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員				第2期	H30	R1	R2	R3
第3 財務 内容 の 改善 に 関 す る 目 標 を 達 成 す る た め と る べ き 措 置	1 業績管理の徹底	—	—	—	—	—	—		B		B	B	B	B	B
	(1) 診療実績の向上による収入の確保	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員) 20~21年度はコロナ患者受け入れに伴う補助金や診療報酬の手当によって収入は確保できたが、平時に戻った場合に向けて分析が必要である。 (B委員) ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて算定できる施設基準の取得や病床病床の回復と有効活用を早期に計画する必要がある。 (C委員) 救急医療と感染症対策との料率が必要。 施設のあり方、人材配置など今後の収入の確保は図れたと考える。課題を整理する必要がある。 (D委員) 経年的評価による。 (E委員) COVID-19にてこれまでの一般診療は制限されているが、今回のCOVID-19での収入を除外したポストコロナ禍ではどのようになるかの試算も検討されている。その判断は難しいが、可能な範囲で予測することは必要である。	4	3	3	3	4
	(2) 支出管理などによる経費削減	3	3	3	3	3	3	3	3	(C委員) 数値目標を利用して努力を継続しているものと思われる。 (D委員) 経年的評価による。 (E委員) 医療従事者の増加やCOVID-19対応に伴う手当等から人件費が増加したものと考えるが、人に対する投資は重要である。なお、材料費は改善されている。	3	3	3	3	3
	(3) 原価計算の活用	3	3	3	3	3	3	3	3	(A委員) 今後、収支改善や政策医療の推進、病院の建て替え等において必須になる。 (C委員) 原価計算の必要性を含め、費用対効果で検討するとされているが、医療サービスを持続継続とするためには原価計算は必須である。 配賦基準はある適度割り切りも必要と思う。 (D委員) 経年的評価による。	—	—	3	3	3

※黄色は昨年度から評価を上げた項目、青色は評価を下げた項目となります。

内 容 項 目		第3期中期目標期間見込							参 考										
		法人 自己 評価	評価委員会評価					委員 平均	評価 結果	第3期中期目標岐南見込評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)					評価結果				
			A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員			第2期	H30	R1	R2	R3					
第3 財務 内容 の 改善 に 関 する 目 標 を 達 成 す る た め と る べ き 措 置	2 安定した経営基盤の確立	—	—	—	—	—	—		B		B	B	B	B	B	B	B		
	(1) 収支の改善	4	3	4	4	3	4	3.6	3	(C委員) 持続可能な病院経営の第一ステップが完成した第3期中期日目標期間だと考えられ、十分に評価出来る。 (D委員) 経年的評価による。 (E委員) COVID-19にて医業収益は十分ではない。診療単価が上昇しているが、診療報酬上の特例措置等が含まれていると思われるので、ポストコロナ禍ではどのようになるかを検討しておく必要がある。	4	3	3	3	4	第2期:経常収支の改善			
	(2) 計画的な投資	4	3	4	4	3	3	3.4	3	(A委員) 本中期期間の後半がCOVID-19感染症の影響によって平時における収支と財務の基礎数値が不透明になってしまった。今後の投資計画を策定するために十分な分析が必要になる。 (C委員) 老朽化した施設では医療の質や収入を増やすことに対して限界があり、それが医療職など必要な人材確保にも苦勞することとなる。 建替議論についてスピードアップを更にはかかっていくべきである。 (D委員) 経年的評価による。 (E委員) 急激に発生したCOVID-19に対しての投資では、適正な結果が得られている。	3	3	3	3	3	第2期:資金収支の改善と計画的な投資			